

熊本市「令和８年度優良工事表彰」

工事２８件、若手技術者２４人が受賞、表彰式中止

熊本市は８月１２日、令和８年度優良工事表彰の受賞者を公表した。令和７年度に完成検査が完了し工事成績評定を行った工事５９７件の中から２８件（企業３７社・延べ４０社、技術者４７人、延べ４８人（技術者は現場代理人と監理（主任）技術者と同じ場合は１人で算出））、若手技術者２４人を選定した。表彰式は７月２８日に発生した地震の状況を踏まえて中止となった。

同市では、平成２４年度に優良工事等表彰制度を創設。前年度に完成検査が完了した予定価格４００万円を超える工事（令和７年５月に制度要綱を改正したため４月３０日以前の公告等を行った工事は２５０万円を超える工事が対象）の全２９業種・ランクが対象。このうち、工事成績評定が８０点以上で業種・ランクごとの上位数者の建設業者及び技術者を表彰している。また、若手技術者は契約日時点で３５歳未満の者としている。表彰者は総合評価一般競争における技術評価点の中で加点し、意欲の向上及び工事品質や技術力のさらなる向上に取り組んでいる。

また、業種別平均点では、舗装工事Ａランクが８６．３点と最も高く、次いで建築一式工事Ａが８５．２点と続く。

このほか、優良施工業者として、過去５か年度（令和２年度～令和７年度）に完成検査が完了した工事で、登録業種ごとの工事成績評定点の平均点が８７点以上を有する市内外の建設業者を公表。市内業者８７社、市外業者１１社となっている。

[令和８年度熊本市優良工事表彰受賞者一覧（企業３７社・技術者４７名）](#)

[令和８年度熊本市若手技術者表彰受賞者一覧（２４名）](#)

[令和８年度熊本市優良施工業者一覧（市内８７社）](#)

[令和８年度熊本市優良施工業者一覧（市外１１社）](#)

[令和８年度熊本市優良工事表彰に係る平均点](#)